

HAMAYOU

芦屋町ボランティア活動センター通信 130号

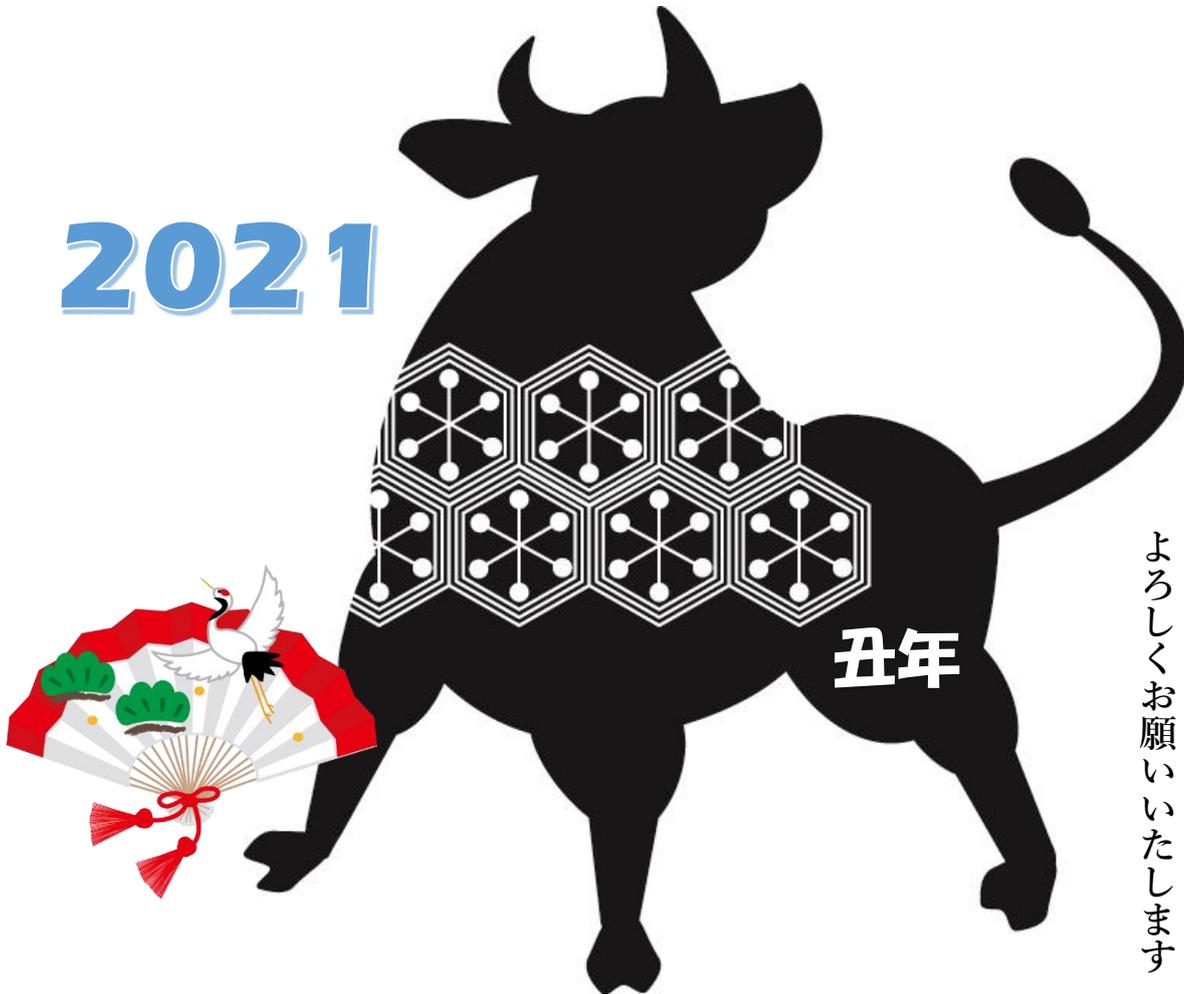
発行日 2021年1月1日

発行者
芦屋町ボランティア
活動センター「リード」
発行所
遠賀郡芦屋町中ノ浜11-6
町民会館2階
TEL 093-221-1011

あけましておめでとーございませう

本年もボランティア活動センターを

よろしく願ひいたします



困難を経て、新しい時代が花開くのだと思います

これからどんな花をどこでどんな風に咲かせるのか、試される時なのだと感じています

顔を上げ、前を向き、自分らしい一步を踏み出した

と思います (廣田)

昨年は誰も想像ができなかった年になりました

「歴史は繰り返す」と言いますが、こんなに医学や科学技術が進んでいても防げないことがあることを体験しています

もうしばらく自粛の生活が続くとは思いますが、

小さな楽しみを見つけて、健康に過ごしたいと思ひます (島本)

昨年は思いがけない病と闘うことになり誰もが戸

惑い、たくさんのお話を諦めた一年でしたね

色々な対策をしながら、干支にちなんで**ぎゅーほ**

(牛歩)で、一步一步いつも通りの生活を取り戻して

頑張ったと思える一年にしたいと思ひます (本田)

12月5日に、りーどぼらんていあキッズ研修会を、ボランティア活動センターで開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響でこれまで活動は行っていませんでしたので、今年度初の研修会です。

研修は人権週間にちなみ、高齢者や障がい者などの接し方をテーマとしました。そこで、アンケートで次の5つの質問をしました。

(1) 道でおいちゃんがじっと立ったままでした。あなたはどうしますか？

- ① 声をかける ② 大人をよぶ ③ なにもしない

(2) おばあちゃんが重い荷物をもって歩くのがたいへんそうでした。

- ① 声をかけてはこんであげる ② なにもしない

(3) 道で小さいこどもがうろろろしていました。あなたはどうしますか？

- ① 声をかける ② 大人をよぶ ③ なにもしない

(4) 白いつえをもった人がおうだんぼどうでこまっていました。

- ① 声をかける ② なにもしない

(5) あなたはおとなりにすんでいる人のなまえを知っていますか

- ① 知っている ② 知らない

質問の(1)から(4)では、困っている人や様子がおかしい人に「声をかける」という回答が多かった一方、(5)では、となりに住んでいる人の名前を「知らない」という回答が100%でした。

高齢者や障がい者の現状や問題などを説明し、どのように声をかけるかなど、小学生の自分たちでもできることを話し合いました。

見知らぬ人であれば、声はかけにくいと思いますが、顔を知っている人なら、声をかけることができます。日ごろから地域の人と関わることはとても大切なことだと理解するきっかけにしてほしいと思います。

次に、ボランティア活動センターで開催中の、クラフトマーケットで販売



する、柿の準備を行いました。

キッズは、復興支援のために被災地から農産物などを仕入れて、イベントや祭りで販売しています。今回は、昨年度キッズが研修に行った、朝倉地域の果樹園から柿を仕入れました。

まずは、柿1個の値段を計算し、袋に何個詰めていくから販売するのがいいのかわき、みんなで話し合いました。その後は、袋詰めをして、販売用のPOP(値札)を作成しました。

柿は10日ほどで完売しました。



☆編集後記☆

今回のりーどぼらんていあキッズ研修会はキッズ本人たちの要望で実現しましたが、意義のあるものになったと思います。

未曾有の1年が過ぎました。2021年が明るく楽しく、健康的な年であるように心から祈ります。

廣田

★各種教室 (見学できます。詳細はお問い合わせ下さい)

■デジタル写真教室

・ADPC(火曜日 13:00)

■福祉支援教室

・芦屋町手話の会

(月4回 水曜日 19:00)

・ハーティネットあいあい視覚障がい者支援

(月2回 木曜日 13:00)

■英会話教室

・AEGC(木曜日 10:00)

■手作り教室

・さくら会〈洋裁教室〉

(水曜日 13:00)

・でんでんむし〈布絵本教室〉

(木曜日 10:00)